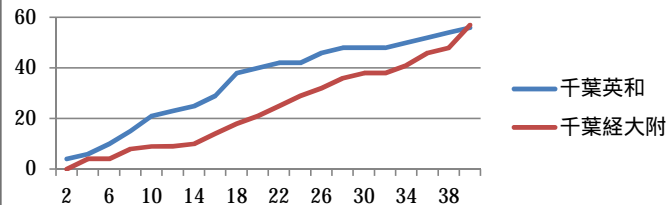
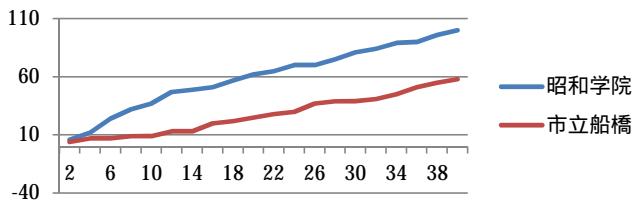


ピリオドスコア・戦評 決勝リーグ その1

2015/6/20

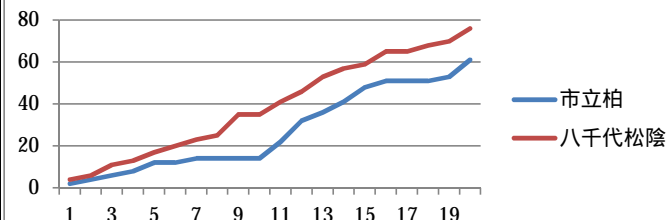
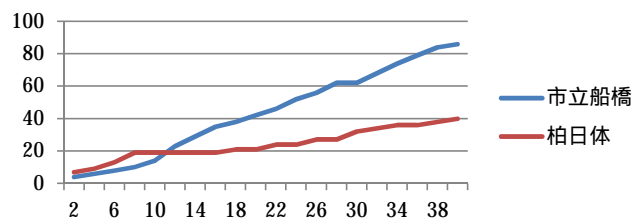
Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A5	201	女 昭和学院	37	25	19	19		100	B5	242	女 千葉英和	21	19	8	8		56
	222	市立船橋	9	16	14	19		58		282	千葉経大附	9	12	17	19		57



決勝リーグ第1試合は今年度2大会連続ベスト4入賞の千葉商業を破り勢いに乗る市立船橋と先日、山梨県で行われた関東大会においてAブロックで優勝した昭和学院のカードとなった。昭和学院はサイドライン側を上手に利用した速攻から角度を変えて#8や#10に繋いだり、この2人のポップアウトからのハイローと多彩な攻撃パターンで攻めるのに対し、市立船橋は開始早々#6スリーポイントや#7のスチールなどで応戦する。市立船橋は第1ピリオド後半から第2ピリオドの4分まで3-2ゾーンを試みるが点差は離れていき、ほぼ前半で勝負が決まった。点差が広がった後半は、お互いに明日の最終日を考えたの戦いとなったが攻撃の手を緩めない昭和学院が決勝リーグでまずは1勝をおさめた。

インターハイを賭けた初日の大一番は千葉経済が大逆転で千葉英和を下し、1勝目をあげた。出だしは千葉英和がハイスピードのオフェンスを展開。#5、#7がインサイドで、#6がドライブで得点を重ね、千葉経済の強固なディフェンスをあざ笑うかのようにリードを広げる。千葉経済は攻め手もないまま40-21千葉英和のリードでハーフタイムを迎える。第3P千葉経済は激しいディフェンスからの速攻で差を縮めると10点差まで詰めて最終ピリオドを迎える。ペースを抑えた千葉経済のディフェンスが完全に千葉英和を凌駕し始め、千葉経済は残り2分を切り、#9のバスケットカウント、#7の3Pで56-56この試合初めて同点に追いつく。千葉英和の攻撃を粘りのディフェンスで24秒OTで凌ぐと、残り14.5秒からの攻撃で#5がドライブでFTを誘いFTを1本沈める。千葉英和の最後のシュートはリングを外れ試合終了。千葉経済が最大22点差を逆転する劇的な勝利。

Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total	Game		Team	1Q	2Q	3Q	4Q	OT	Total
A6	101	男 市立船橋	14	28	20	24		86	B6	142	男 市立柏	12	2	34	13		61
	141	柏日体	19	2	11	8		40		182	八千代松陰	17	18	24	17		76



県内随一の選手層を誇る市立船橋と外国人留学生を有する柏日体の対戦。開始早々#6の3Pが決まり勢いに乗った柏日体がリードする。しかし、市立船橋は激しいディフェンスからリズムを掴み逆転し、一気に突き放す。1Qこそ柏日体がリードするが、2Qで圧倒した市立船橋が21点リードで前半終了。後半に入っても市立船橋の勢いが止まらず点差を広げていく。市立船橋がインターハイ最有力の実力を見せつけ86-40で快勝した。

前半は互いの堅守で得点が伸びない。特に2Q松陰のディフェンスに柏が得点を取れず、2点に抑えられてしまう。35-14松陰リードで終了。後半は、一転して得点の取り合い。柏はゾーンで巻き返しを図り、3Q終了間際に9点差まで詰め、4Qに望みをつないだ。4Q柏はハーフ、オールコートでゾーンをしかけて追撃を図るが、松陰は落ち着いてゲーム運び、粘る柏を振り切って勝利した。松陰の勝因は、前半の堅いディフェンスにあった。